

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	潜水士	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	スポーツインストラクターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	潜水士テキスト				
担当教員情報					
担当教員	平川 大輔	実務経験の有無・職種	有・ダイビングインストラクター		
学習目的					
潜水についての知識を深め潜水事故の防止・潜水障害の防止、また関係法令を学ぶ事により、労働災害の防止など労働者の保護についても学んでいきます。今後ダイビングを行う際の潜水事故防止、潜水障害防止に役立つ知識を習得します。					
到達目標					
潜水士試験は、【潜水業務】【送気、潜降及び浮上】【高気圧障害】【関係法令】の4科目で構成されており、各科目の得点が40%以上で、かつ全科目の得点が60%以上で合格です。それぞれの科目をしっかりと理解し合格を目指します。					
教育方法等					
授業概要	・講義にて潜水士試験科目【潜水業務】【送気、潜降及び浮上】【高気圧障害】【関係法令】を学び国家試験合格を目指します。				
注意点	・授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません ・学科試験がありますので、しっかりと理解しわからないポイントがあればどんどん質問して理解を深めてください				
評価方法		割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価します		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 (口頭・実技)	%			
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価します		
授業計画（1回～15回）					
回		各回の到達目標			
1回	【潜水業務】概要・潜水の物理	定義・歴史・現状、各種気体の法則・特性、水中での光・音・熱の伝播について理解します			
2回	潜水の種類・スクーバ潜水	呼吸ガス・潜水方式・減圧方式、スクーバ潜水の各種器材について理解します			
3回	全面マスク式・ヘルメット式潜水	全面マスク式の設備・器材・点検、ヘルメット式の設備・器材・点検について理解します			
4回	混合ガス潜水方式・飽和潜水	混合ガス潜水の設備・器材・点検、酸素減圧、飽和潜水の概要・方法・特性について理解します			
5回	潜水業務の計画・管理・事故発生時の措置	潜水作業計画の立案・管理、危険性・代表的な事故とその予防、緊急体制の確立について理解します			
6回	【送気・潜降および浮上】	空気潜水・混合ガス潜水での給気と送気、それぞれの潜降と浮上法について理解します			
7回	適正な浮上速度・個別潜水状況への対応	新減圧表の概念、減圧理論、用いられている数式、高所潜水・酸素減圧・緊急時の場合など理解します			
8回	【高気圧障害】人の身体・障害とその対策	循環・呼吸・神経系、圧力・呼吸ガス・に関係する疾患、温度による影響について理解します			
9回	潜水者の健康管理・必要な救急措置	病者の就業禁止・個人の健康管理、緊急浮上後の処置・減圧症発生後の処置と治療について理解します			
10回	【関係法令】法令の構成・本文	法令の定義、条文の読み方を解説し、関係する法令を正しく理解します			
11回	高気圧作業安全衛生規則	潜水業務・高気圧障害・その他障害から潜水士を守る規則を理解します			
12回	労働安全衛生法	労働基準法と相まって労働災害の防止・快適な職場環境の確立と対策など理解します			
13回	労働安全衛生規則	事業者としての労働者の危険・障害を防止、作業法の確立・環境・その他必要な措置について理解します			
14回	その他関連する法令	高圧ガス保安法、船舶安全法、医療用酸素の取扱（薬機法）について理解します			
15回	4科目、総まとめ	【潜水業務】【送気、潜降及び浮上】【高気圧障害】【関係法令】のポイント、試験対策について理解します			